

# 第1編 総論

# 第1編 総論

## 第1章 計画の基本的事項

### 1. 策定の背景と目的

「江別市一般廃棄物処理基本計画」（以下「本計画」という。）は、循環型社会形成推進基本法や各リサイクル法に沿って、資源を循環的に利用することにより廃棄物の発生を抑制し、環境への負荷をできる限り低減させる「循環型社会」の形成を推進するため、長期的・総合的な視点に立って、江別市の区域内から発生する一般廃棄物の処理を、発生から中間処理、最終処分までの全ての過程を対象とし、平成23年3月に策定しました。

この間、社会経済状況は、平成23年3月の東日本大震災の経験を通じて、災害廃棄物処理の検討が急務となるとともに、放射能汚染問題や環境政策、エネルギー問題などに大きな波紋を広げ、エネルギー政策の転換が迫られました。

また、景気の動向は、一部持ち直しの気配も感じられますが、平成26年4月の消費税8%への引き上げの際には、駆け込み需要の増大と、その後の買い控えが起こるなど、消費動向に大きな影響を与えました。

一方、国においては、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）の3Rを基本とした環境への負荷が少ない「循環型社会」形成の法体系を構築し、廃棄物の減量化の方針や計画を示しています。

このような中、江別市においては本計画に基づき、ごみの発生や排出抑制、リサイクルの推進や適正処理等、様々な施策に取り組み、平成26年度には、民間事業者による衣類全般をリユースするシステムが構築され、デジタルカメラやゲーム機等の使用済小型電子機器等の再資源化を促進するための、小型家電リサイクル法が施行されたことに伴い、古着・古布や小型家電回収の取り組みを開始するなど、リユース・リサイクルに向けた新たな取り組みを行い、一定の成果を上げております。

しかしながら、本計画策定後の経済状況の緩やかな改善に伴う消費の回復や、ライフスタイルの多様化に伴う商品やサービスの充実などの要因もあり、ごみの減量化については思うような効果が上がっておりません。

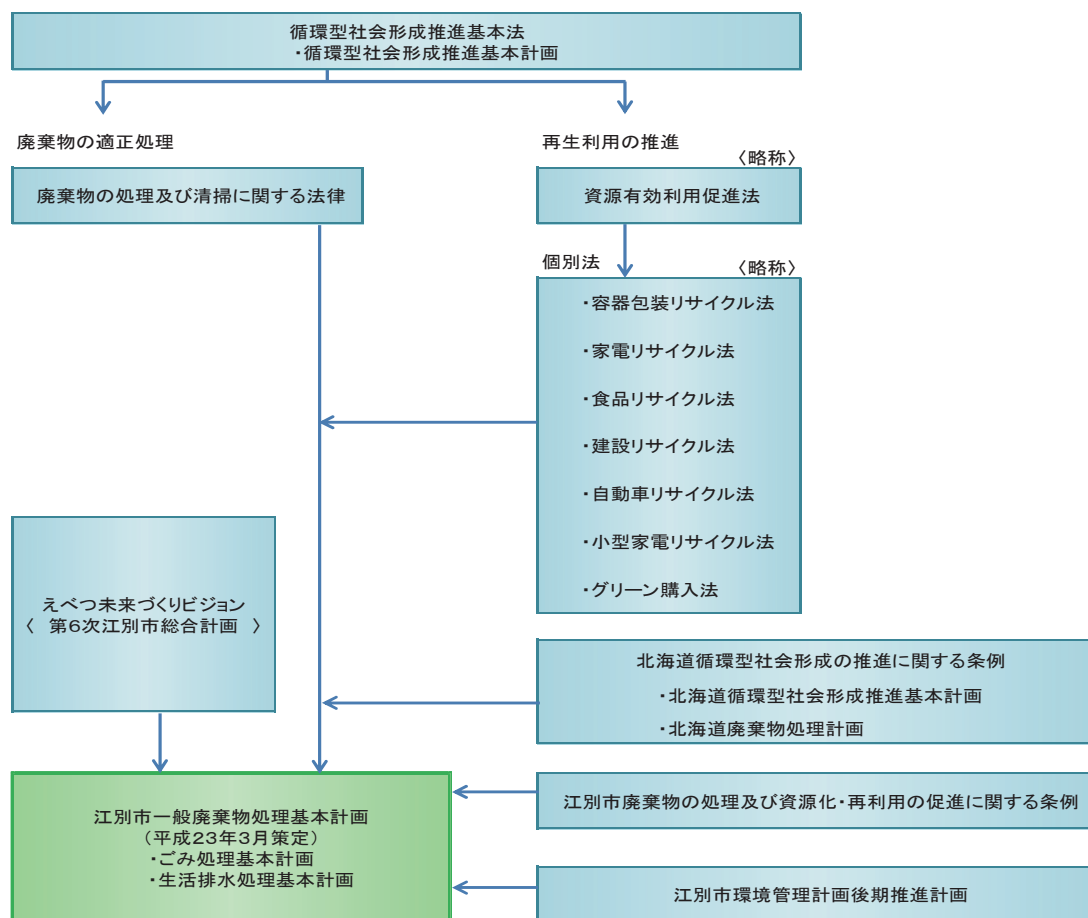
また、生ごみの減量・資源化や排出困難者への対応など、本計画策定後の新たな市民ニーズへの対応も今後は必要となります。

この度、計画策定から5年が経過したことから、社会情勢や市民ニーズの変化を踏まえ、骨格に当たる基本理念、基本方針は改定前の計画を基本とし、ごみの減量や資源化などの目標達成に向けて、新たな施策を示すため、見直しを行うものです。

## 2. 計画の位置付け・体系図

本計画は、一般廃棄物の処理を長期的・総合的な視点に立って計画的に推進するもので、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項の規定に基づき策定するものです。

また、策定にあたっては、循環型社会形成推進基本法等の関係法令のほか、えべつ未来づくりビジョン（第6次江別市総合計画）との整合を図っています。



## 3. 計画の期間

本計画は、平成23年度から平成32年度までの10年間を計画期間としています。

23年 (2011年)	24年 (2012年)	25年 (2013年)	26年 (2014年)	27年 (2015年)	28年 (2016年)	29年 (2017年)	30年 (2018年)	31年 (2019年)	32年 (2020年)
第5次江別市総合計画 後期基本計画			えべつ未来づくりビジョン 〈第6次江別市総合計画〉						
(現計画期間) 計画期間 (改定計画期間)									
計画初年度				中間目標年度					計画目標年度

## 4. 計画の対象範囲

本計画の対象区域は、江別市全域とし、対象とする廃棄物は廃棄物の処理及び清掃に関する法律第2条第2項の規定に基づく一般廃棄物とします。

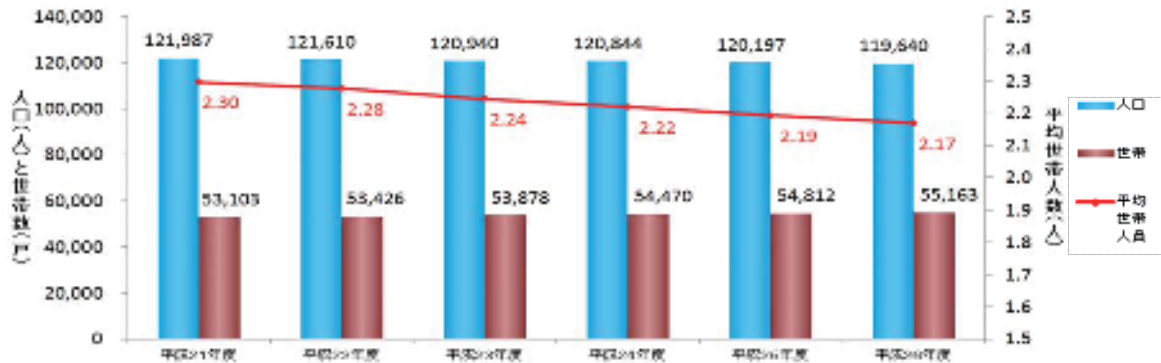
## 第2章 江別市の概況

### 1. 人口の状況

#### (1) 人口及び世帯数の推移

江別市の人口は、平成18年度をピークに現在まで減少傾向で推移しています。

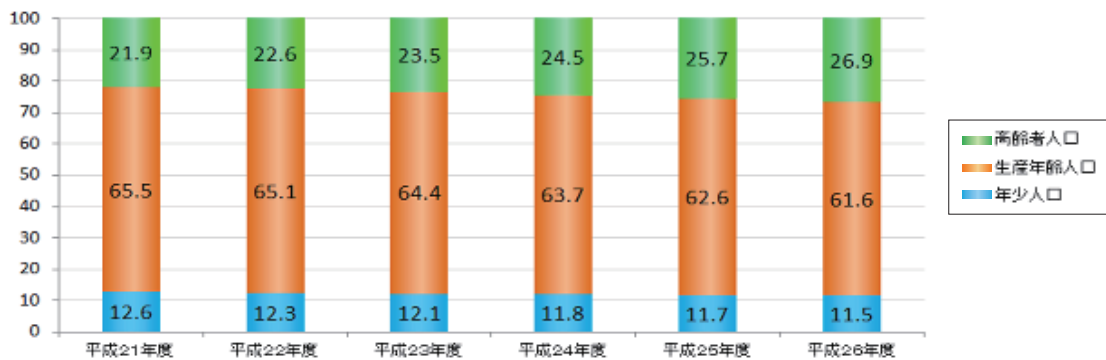
一方、世帯数は、増加傾向で推移していますが、平均世帯人員は減少し、世帯の少人数化が進んでいます。



人口及び世帯数等の推移〈各年度末住民基本台帳〉

#### (2) 年齢別人口の推移

年齢別人口は、年少人口（15歳未満）と生産年齢人口（15歳以上65歳未満）が減少し、高齢者人口（65歳以上）が増加しており、少子高齢化が進んでいます。

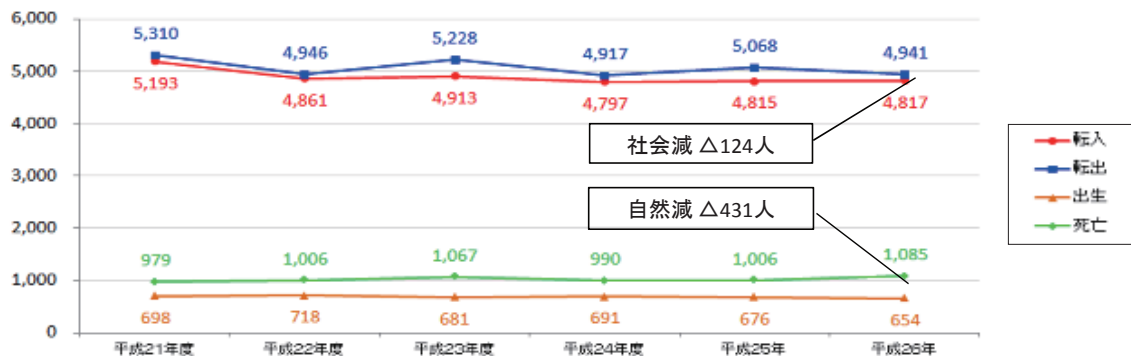


年齢別人口割合の推移(%)〈各年度末住民基本台帳〉

#### (3) 人口の動態

人口動態は、自然動態では出生より死亡が多い自然減で推移しており、社会動態では転入より転出が多い社会減で推移していることから、両要素により人口の減少傾向が続いている状態です。

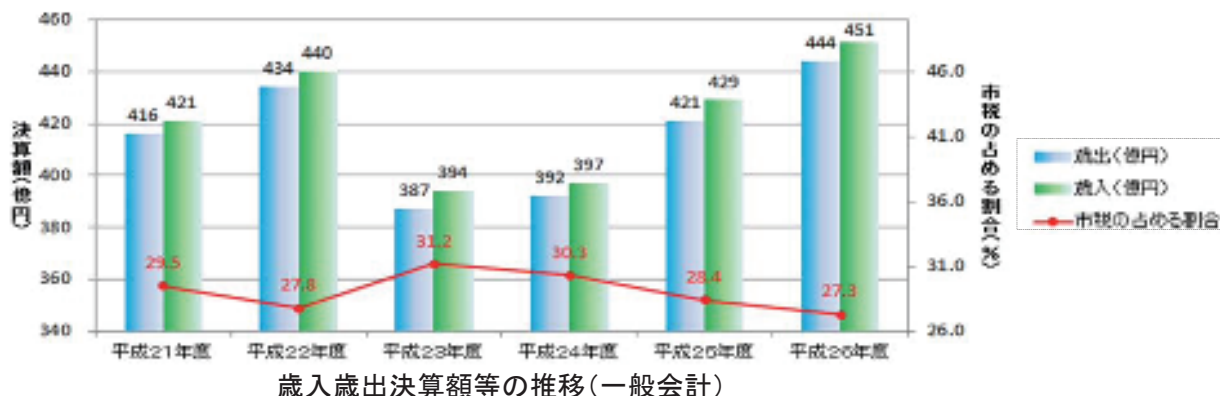
なお、平成24年度までは年度で集計し、平成25年から年で集計しています。



人口の動態(人)〈各年度住民基本台帳〉

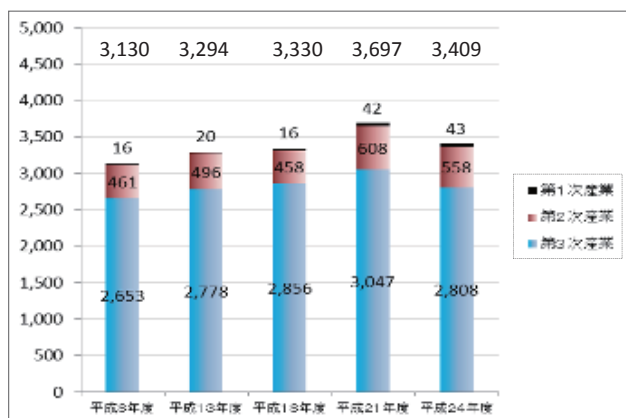
## 2. 財政の状況

市税については、生産年齢人口が減少傾向の中、大幅な増加を期待できない状況です。歳入決算額に占める市税の割合は、3割前後となっています。

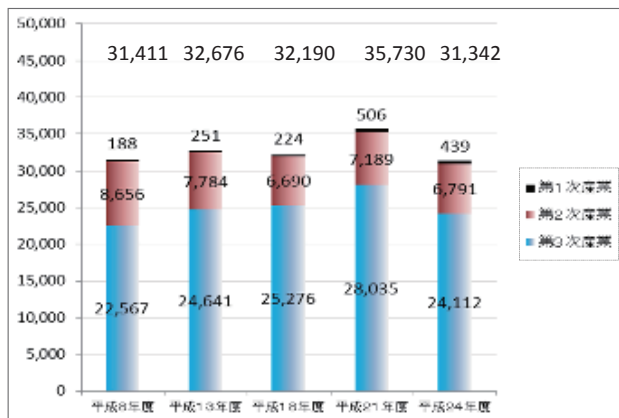


## 3. 産業の状況

江別市の産業別の事業所数と従業員数では、第3次産業が約8割を占めています。詳細は、次のとおりです。



産業別事業所数(各年10月1日現在)



産業別従業員数(人)(各年10月1日現在)

平成18年までの数値は、事業所・企業統計調査によるものです。

平成21年の数値は、新しく創設された平成21年経済センサス基礎調査によるもので、事業所・企業統計調査とは調査の対象は同じですが調査方法が異なっており、平成18年の数値と単純に比較できません。

また、平成24年の数値も新しく創設された平成24年経済センサス活動調査によるもので、国及び地方公共団体、農業・林業に属する個人経営の事業所等を除いているため、他の調査と単純に比較できません。